

## 「JAバンク茨城子ども食堂応援助成2024」活動報告書

活動名	シンママ集まれ！フードパントリー付大相談会
団体名	ママのポップ・ステップ・ジャンププロジェクト
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	シングルマザーは良い労働条件の仕事に就きにくい。シングルマザー自体も離婚で自信を失っており、育児で忙しいことから積極的な気持ちになるのが難しい。シングルマザーを安い賃金で稼働させることにより利益を得ている中小企業も多いという現実もある。養育費も貰えていないし、公的支援も情報や条件などによって受けられない人もいる。これらも重要な家計を安定させるものでもあるので、支援する必要があるため相談を受け付けることは重要である。シングルマザー自身も互いに支え合い、自信を取り戻せるよう伴走者を得て、学歴や資格や技術を得ることによって安定した良い仕事に就けるよう、アドバイスしたり、経済上の支援をする仕組みが絶対に必要である。
この活動の目的（※）	シングルマザーの相談にのるワンストップサービスを作り、養育費をしっかりと受取れるよう支援し労働条件の良い就業につなげる。相談に慣れていない対象者のために、相談しやすくするためフードパントリーや子どもも楽しめるイベントを同時に開催して貧困支援も行いながら信頼関係を構築し長期的な支援につなげる。
活動の対象（※）	シングルマザー世帯および離婚前の別居状態にある妻世帯。
実施内容	主に土浦市を中心に、フードパントリー（米5キロ必須）を行いながら多方面からの相談を受けた。R7.3.29の「シンママ集まれ！大相談会」は参加申し込み47名（子どもはその倍くらい）、相談申し込み14名であった。当日は、子ども用当てクジやモールドール作成のほかに、新たに大学生のボランティアによる読み聞かせコーナー（中古絵本の配布）や質の良い中古品・新古品の配布コーナーもできて会場は大変盛り上がった。この回から「ふらっと立ち話相談」を開設し、相談につながる立話を試みることにした。面談相談も、それぞれ1時間の時間枠で行った。法律相談では養育費の強制執行に関する相談が増えている印象であった。7月と12月の相談会は土浦市社協と共催で行われた。R7.7.6の「フードパントリー付ひとり親家庭相談会」では、「3月に相談した養育費が支払われるようになった」という報告があった。強制執行を試みて良かったということで対象者が自信をつけた様子だったので本当に良かったと思う。この会では62名の参加があった。子ども用輪投げは大好評だった。社協で防災に関する展示や紙の食器作りのワークショップが行われ、災害時には弱者になりやすいであろうひとり親に対して防災意識を再確認してもらうことができた。この回は相談件数が14件であり、養育費の他、教育費や奨学金の相談が多かった印象である。教育費や奨学金の悩みが大きいようなので、R7.10.13にパルシステム茨城栃木さんと共催でひとり親家庭向けの教育費を中心とした勉強会を企画したが、なかなか申し込みがなく、内容に自信があったもののあまり対象者に広めることができなかつたのが残念である。「勉強会」と

※ 申請書から転記いただいて構いません。

## 「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	<p>いう硬いネーミングにも問題があったのかもしれないので、次回はより工夫をこらして企画したいと考えている。R7.12.6の「歳末たすけあい事業フードパントリー」では米8キロ配布のほか、お餅や年越しそば、クリスマスのお菓子、ティッシュやトイレットペーパー、洗剤など多数の支援を配布した。<u>親権等に関する法改正のパンフレットも全員に配布した。</u>12月の社協担当部署はこれまでと違う係だったため、方針が定まらず最初は大変やりにくさを感じたが、当日は意外とスムーズに開催することができたのでホッとした。12月の参加者は60名（子どもはその倍くらいいたと思う）だった。相談申し込みは9件で、いつもより少なくなったのはイベント名から「相談」の文字が消えて相談よりもフードパントリーを強調したことも影響したと思う。常に努力をして、相談をするように対象者に働き掛けないと相談が減ってしまうようなので、次回の相談会ではさらなる工夫が必要だと思う。新たに自立支援施設シーダー（駄菓子屋）さんとのつながりができたり、コスメ・バンクさんやマイ・ブック・プレゼントさんとのつながりもできた。次回は対象者から希望があるコスメセットも配布できると思う。米の高騰など困難も多かったが他の活動の皆さんとのつながりは大きく広がった期間だった。</p>
<p><b>活動実施後の成果</b></p>	<p>相談会の継続がすっかり定着し、支援内容も大変充実したので、対象者の方々、土浦市や社協の方々にもプロジェクトの本気を認めてもらえるようになったと思う。対象者の方やその子どもたちに毎回楽しみにしてもらえるようになった。7月の相談会をNewsつくばやYahoo!ニュースに取り上げてもらえた(<a href="#">シングルマザーの支援に取り組む弁護士 田中記代美さん 土浦【ひと】</a>)。12月のイベントは茨城新聞社の取材を受けたので近いうちに記事になると思う。認定NPO「全国ひとり親家庭支援団体全体協議会」に入会し、同じようにシングルマザー支援をしている全国の団体とつながることができた。新たな発展段階に入るには、自分たちだけで固まるのではなく、他の団体の活動を勉強して刺激を受けたり、他の団体と連携することも当然必要になってくるが、地道に活動することで徐々に信頼してもらえるようになっていくと感じている。</p>
<p><b>今後の展望や新たに増えてきた地域課題</b></p>	<p>寄付を呼びかけようとしたところ、宗教団体から連携の話が来たが、不安になりやすい対象者に布教活動などされたら困るので断った。同様に風俗系の団体に近づかれても困る。寄付のしくみを作ろうとホームページも作成しているがいろいろ工夫が必要なので他の団体の工夫を勉強させてもらう予定である。次回は、土浦まちゼミに参加してイベントを行うことになった。土浦市内の商工業者の方々と連携して就業支援につなげるしくみが作れるように頑張っていきたいと考えている。</p>
<p><b>子ども食堂応援定期貯金預金者への一言（※）</b></p>	<p>おかげさまで大変充実した支援を行うことができました。多くの方々が大きな安心と喜びを感じてくれたことと思います。このプロジェクトはこれからが正念場ですので、どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。</p>
<p><b>自己評価</b></p>	<p>A- 目標を超える成果を得ることができた（但し、思うようにいかない部分もあった）</p>